

これからの時代を生きる子供たちの姿や思いを探る

—今日的な教育課題に視点を当てて—

指定都市教育研究所連盟の共同研究とは？

全国20の政令指定都市の教育研究所・教育センターで構成される指定都市教育研究所連盟は、政令指定都市に住む子供の実態把握を通して、教育の今日的課題を解明し、学校・家庭・地域社会における教育の在り方について提言してきました。

昭和38年から基本的に3か年を1次として研究し、今回で17次となる共同研究です。

第17次共同研究では、平成25年度に19政令指定都市の小学校4年生、6年生、中学校2年生、約3万人を対象として、40項目について実施した調査をもとに、経年の変化と合わせ、成果と課題を3つにまとめました。

- ◆子供たちの生活・学習意識の向上
- ◆情報化の進展に伴うモラルの在り方や子供の健康や学習
- ◆人との関わりを求めている子供の姿

…について学校・家庭・地域社会における教育の在り方や子供たちとのかかわり方を提言します。

子供たちは、学校における生活・学習意識を向上させています

過去のデータと比べると… 学校生活が充実している子供が増えています。

設問番号	調査項目	H16	H19	H22	H25
21	学校生活が楽しいですか。	49.6	51.0	53.8	57.4
23	あなただけ、そうじ道具など、みんなが使うものを大切に扱っていますか。	39.0	41.5	47.5	61.9
28	学校や学年の行事に、進んで取り組んでいると思いますか。	28.1	29.4	32.3	32.7
29	あなただけ、学校生活の中で、誰かの役に立ったと思うことはありますか。	8.1	9.8	11.0	15.6
31	学校の授業がわかりますか。	32.8	35.5	35.8	47.6
32	学校の授業が楽しいですか。	22.3	25.6	27.2	31.6
38	授業中、学習に進んで取り組んでいると思いますか。	18.1	18.6	21.6	28.3

※数値は、最も肯定的な回答の割合（％）

どの学年でも、「大切に扱っている」、「どちらかといえば大切に扱っている」の肯定的割合が95%を超えているよ！

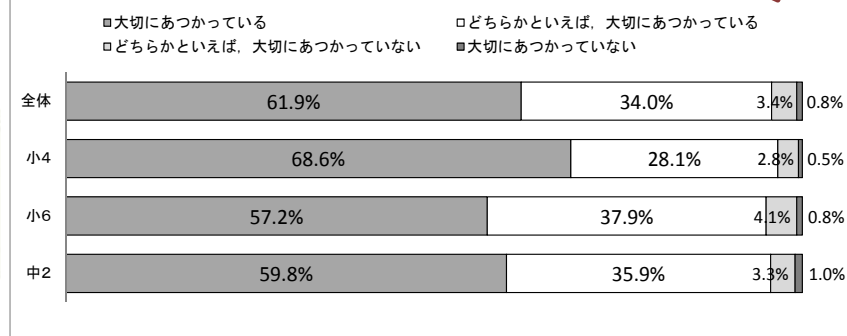


提言 1

学校では、学び合いのある学習を大切に、さらなる授業改善や指導の工夫に努めましょう！

さらに、学年別で比べると…

図3-3 公共性（設問23）



クロス集計によると…

子供たちは、情報機器の普及によって生活に大きな影響を受けています

情報機器の利用時間と就寝時刻との関連（単位：％）

設問 2 次の日に学校があるとき、だいたい何時頃までに寝ますか。

設問 7 学校のある日に、家で情報機器（パソコン、携帯電話、スマートフォン、ゲーム機など）を一日にどれくらい使っていますか。

設問 7 \ 設問 2	午後 10 時までに寝る	午後 11 時までに寝る	午前 0 時までに寝る	午前 1 時までに寝る	午前 1 時過ぎに寝る
ほとんど使っていない	57.4	26.8	11.3	3.1	1.3
30 分くらい使っている	53.9	30.5	11.5	3.3	0.9
1 時間くらい使っている	41.7	35.7	16.6	4.7	1.3
2 時間くらい使っている	26.9	37.0	23.9	8.8	3.5
3 時間以上使っている	19.5	26.9	25.2	16.2	12.3

提言 2

学校と家庭は、子供が情報機器を利用する目的や時間について、自ら判断する力を身につけさせましょう！

子供たちは、学校以外での学びの有用性を感じています

地域の人から学ぶことの楽しさと学校以外での全ての学習との関連（単位：％）

設問 19 地域の人（ゲストティーチャーなどを含む）から学ぶことが楽しいですか。

設問 20 学校以外での勉強や習い事などが、社会に出たとき、役に立つと思いますか。

設問 19 \ 設問 20	役に立つと思う	どちらかといえば、役に立つと思う	どちらかといえば、役に立たない	役に立つとは思わない
楽しい	80.2	16.1	2.5	1.2
どちらかといえば、楽しい	66.0	28.9	4.2	0.9
どちらかといえば、楽しくない	51.4	37.4	8.2	2.9
楽しくない	46.8	30.9	11.8	10.5
機会がないから、わからない	58.5	31.9	6.0	3.6

地域の人から学ぶことの楽しさは、子供の自己有用感とも関係が深いよ！



提言 3

学校と地域は、連携を大切に、子供がさまざまな人から学ぶ機会を増やしましょう！

調査結果は次のように活用できます！

〈学校では…〉

- 校内研修の資料として
- 学校説明会や保護者会、家庭教育学級等での話題提供の資料として
- 独自のアンケート調査を実施する際に、調査項目の作成や結果分析の参考資料として

〈地域では…〉

- 市民講座や講演、町内会、老人クラブ等、市民からの要請に基づく出前講座、座談会（テーマ例：「これからの時代を生きる子供の姿」）の資料として

〈家庭では…〉

- OPTA の研修会等における生活習慣・学習習慣に関する話題として

全国 20 政令指定都市の指定都市教育研究所連盟

札幌市教育センター、仙台市教育センター、さいたま市立教育研究所、千葉市教育センター、川崎市総合教育センター、横浜市教育センター、相模原市立総合学習センター、新潟市立総合教育センター、静岡市教育センター、浜松市教育センター、名古屋市教育センター、京都市総合教育センター、大阪市教育センター、堺市教育センター、神戸市総合教育センター、岡山市教育研究研修センター、広島市教育センター、北九州市立教育センター、福岡市教育センター、熊本市教育センター

詳細につきましては、各指定都市教育研究所（教育研究所・教育センター）にお問い合わせください。